



2018年2月13日

各 位

会社名 D M G 森 精 機 株 式 会 社
代表者名 代表取締役社長 森 雅彦
(コード番号：6141 東証第一部)
問合せ先 代表取締役副社長経理財務本部長 小林 弘武
(TEL 052-587-1811)

譲渡制限付株式報酬制度の導入に関するお知らせ

当社は、2018年2月13日開催の取締役会において、役員報酬制度の見直しを行い、譲渡制限付株式報酬制度（以下「本制度」といいます。）の導入を決議し、本制度に関する議案を2018年3月22日開催予定の第70回定時株主総会（以下「本株主総会」といいます。）に付議することといたしましたので、下記のとおり、お知らせいたします。

記

1. 本制度の導入目的等

(1) 本制度の導入目的

本制度は、当社の社外取締役を除く取締役（以下「対象取締役」といいます。）を対象に、当社の企業価値の持続的な向上を図るインセンティブを与えると同時に、株主の皆様との一層の価値共有を進めることを目的とした制度です。

(2) 本制度の導入条件

本制度は、対象取締役に対して譲渡制限付株式の付与のために金銭債権を報酬として支給することとなるため、本制度の導入は、本株主総会において、かかる報酬を支給することにつき株主の皆様のご承認を得られることを条件といたします。

2. 本制度の概要

対象取締役は、本制度に基づき当社から支給された金銭報酬債権の全部を現物出資財産として払込み、当社の普通株式について発行又は処分を受けますこととなります。

当社の取締役に対する報酬等の額は、2007年6月28日開催の第59回定時株主総会において、年額600百万円以内（ただし、使用人兼務取締役の使用人分給与を含みません。）とご承認いただいておりますが、本制度を新たに導入するにあたり、この報酬枠とは別枠で譲渡制限付株式の交付を目的として年額300百万円以内の報酬を支給することにつき、本株主総会において株主の皆様にご承認をお願いする予定です。各対象取締役への具体的な支給時期及び配分については、取締役会において決定いたします。

また、現行の取締役の報酬額につきましても、経済情勢の変化に加え、グローバルに事業が拡大する局面において優秀かつ多様な人材の確保をより一層推進することを目的として、従来ご承認い

ただいております年額600百万円以内(ただし、使用人兼務取締役の使用人分給与を含みません。)から年額1,000百万円以内(うち社外取締役分100百万円以内)とすることを、本株主総会において株主の皆様にご承認をお願いする予定です。なお、取締役の報酬額には、従来どおり使用人兼務取締役の使用人分給与は含まないものとしたと考えております。

また、本制度により当社が新たに発行又は処分する普通株式の総数は、年300,000株以内(ただし、本株主総会の決議の日以降の日を効力発生日とする当社の普通株式の株式分割(当社の普通株式の無償割当てを含みます。)又は株式併合が行われた場合、当該効力発生日以降、分割比率・併合比率等に応じて、当該総数を、必要に応じて合理的な範囲で調整します。)とし、その1株当たりの払込金額は、各取締役会決議の日の前営業日における東京証券取引所市場第一部における当社の普通株式の終値(同日に取引が成立していない場合は、それに先立つ直近取引日の終値)を基礎として、当該普通株式を引き受ける対象取締役に特に有利な金額とならない範囲において、取締役会において決定いたします。

また、本制度による当社の普通株式(以下「本株式」といいます。)の発行又は処分に当たっては、当社と譲渡制限付株式報酬の支給を受ける予定の対象取締役との間において、①一定期間、本株式に係る第三者への譲渡、担保権の設定その他一切の処分を禁止すること、②一定の事由が生じた場合には当社が本株式を無償取得することなどをその内容に含む譲渡制限付株式割当契約が締結されることを条件といたします。本株式は、譲渡制限期間中の譲渡、担保権の設定その他の処分をすることができないよう、譲渡制限期間中は、対象取締役が野村證券株式会社に開設する専用口座で管理される予定です。なお、譲渡制限期間については、割当を受けた日より10年間から30年間までの間で、取締役会において決定いたします。

以 上